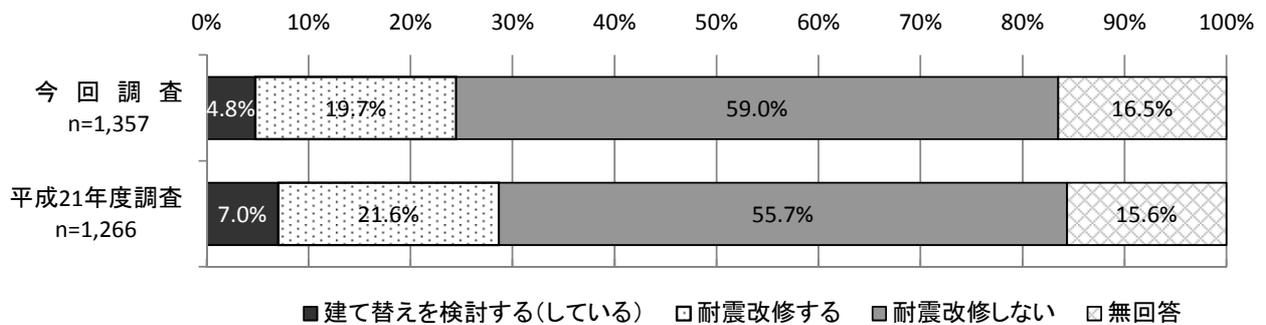


倒壊の危険ありと判定された場合の耐震改修

〈全員を対象とした住まいの地震対策に関する設問で、「耐震診断を受けた」と回答した人以外の人にはうかがいませ
あなたは、自宅の耐震診断を受けて、その結果「判定値 1.0 未満（倒壊する可能性がある）」と判定された場合、耐震改修を行いますか？

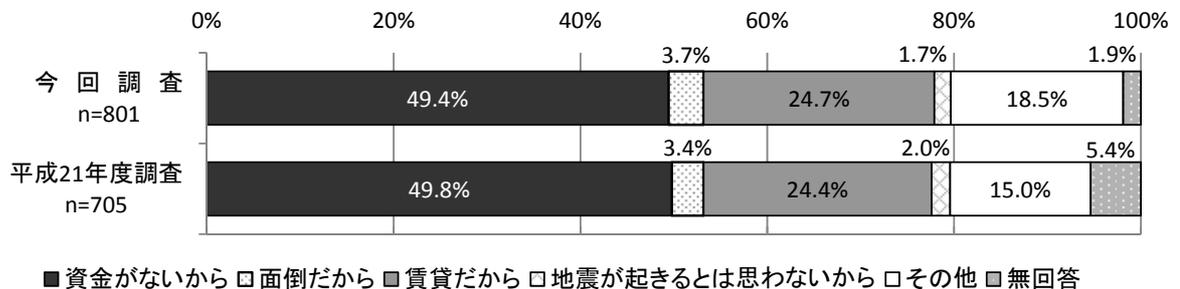
6割弱の人が倒壊の危険があっても「耐震改修をしない」と答えています。
「耐震改修しない」人は増加傾向にあります。



耐震改修をしない理由

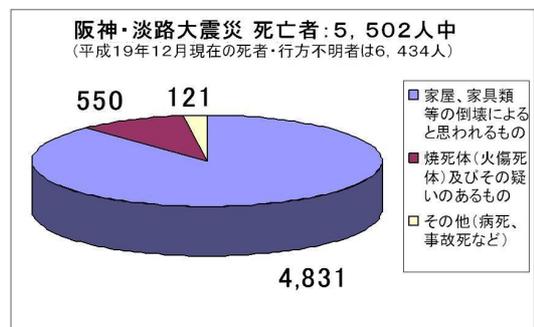
〈上記の設問で「建物の耐震改修をしない」と回答した人にうかがいました〉
耐震改修をしない理由はなんですか。

「資金がない」人が約半数を占めています。



阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋や転倒した家具の下敷きになって亡くなった方が、死亡者の88%にのぼりました。

突然の地震に備えて、家屋の耐震化と家具の転倒防止をしましょう。



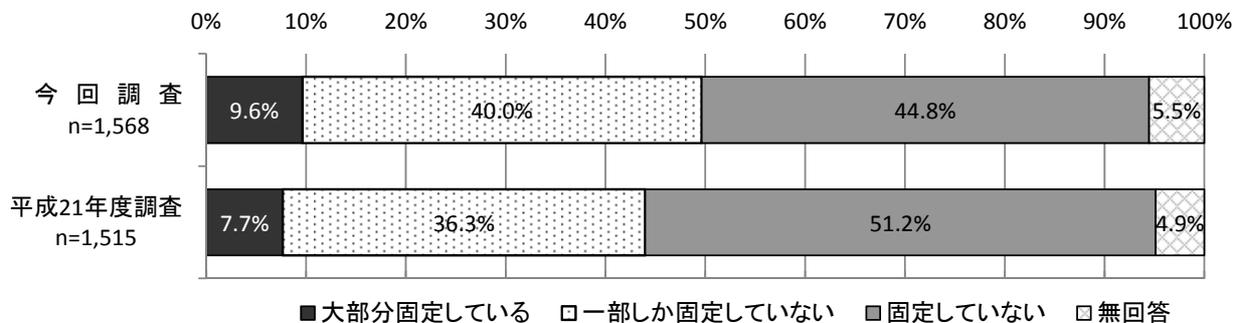
平成7年4月24日現在、警察庁調べ

家具などの固定

あなたのお宅では、家具や冷蔵庫・テレビなどの固定をどの程度していますか？

約半数の人が「大部分」または「一部」固定していると答えています。

「固定していない」人の割合は減少傾向にあります。

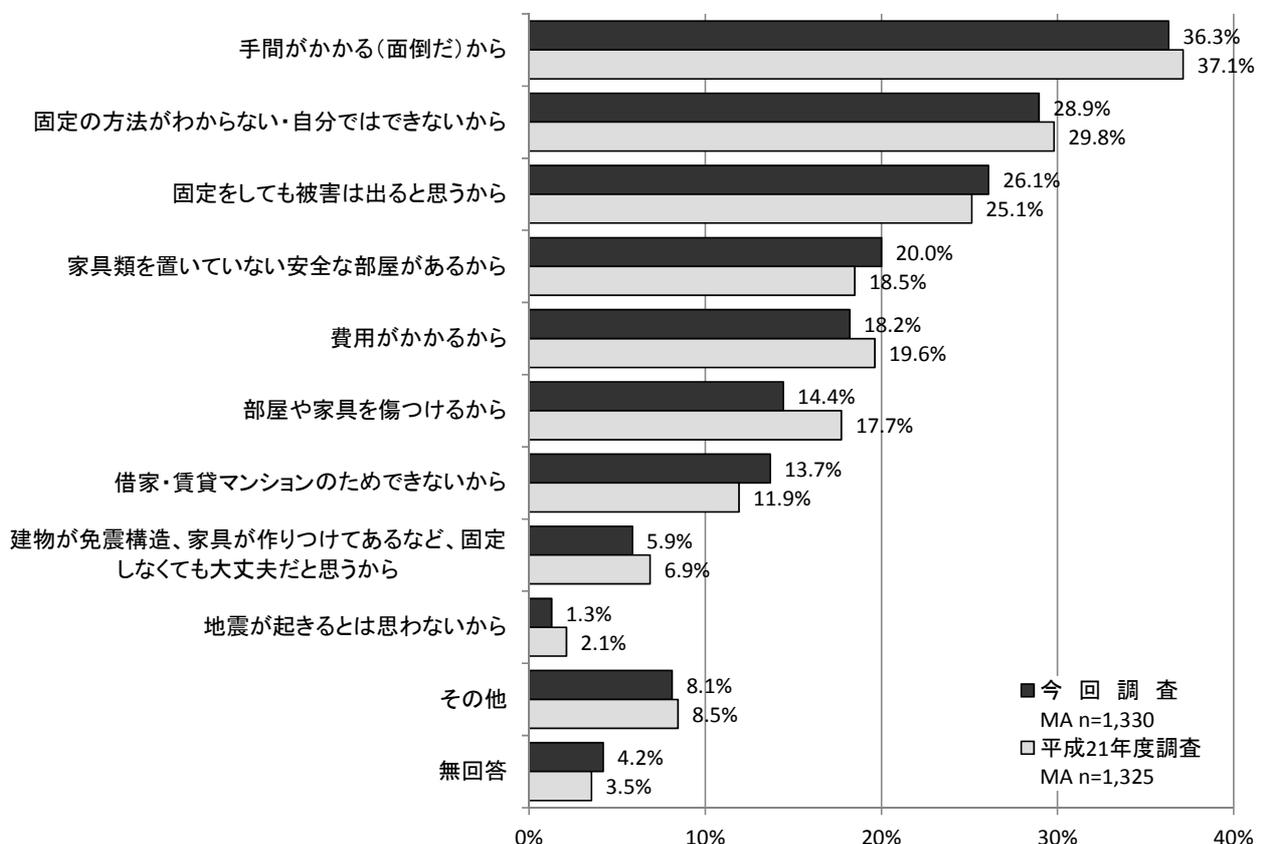


家具などを固定しない理由

<一部しか固定していない・固定していない人にうかがいました>

固定していない理由は何ですか？（〇は主なものを3つまで）

多い理由は、「手間がかかる（面倒だ）」、「方法がわからない、自分でできない」などです。



食料・飲料水の準備

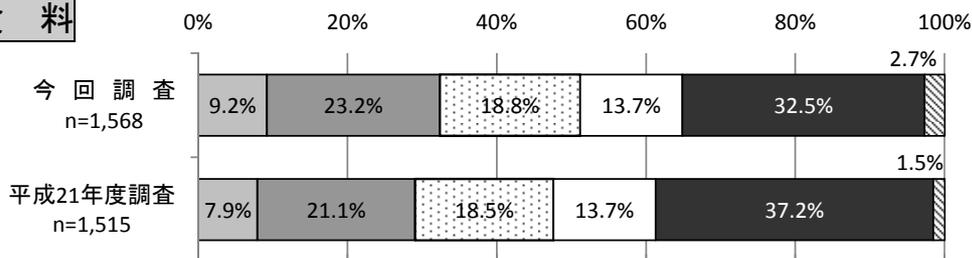
大規模地震の発生に備えて、非常用の食料や飲料水は3日分程度が必要だといわれています。あなたのお宅では、大規模地震の発生に備えて食料や飲料水を何日分備蓄していますか？（飲料水は1人あたり1日3リットルとしてお答えください）

非常用の食料や飲料水を「3日以上」用意している人はそれぞれ3割強です。

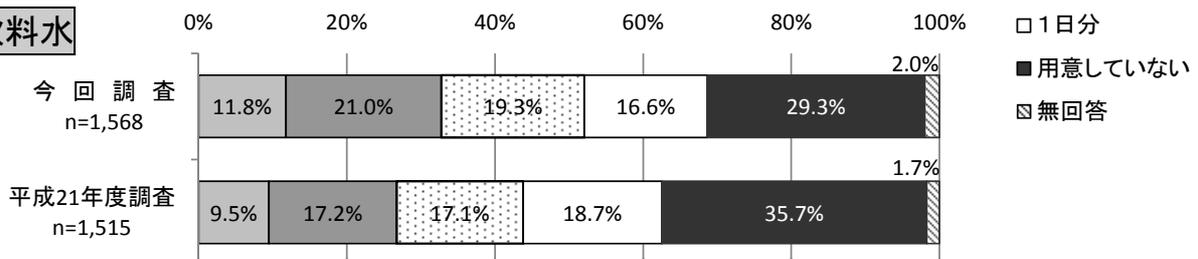
「用意していない」人は前回より減少しています。



食料



飲料水



（防災豆知識）

地震などの広域災害の場合、情報や救急用品、生活必需品などはすぐに被災地に届きません。家族の皆さんや近所の方々と協力し合い、救援を待つための最低限の準備をしておきましょう。

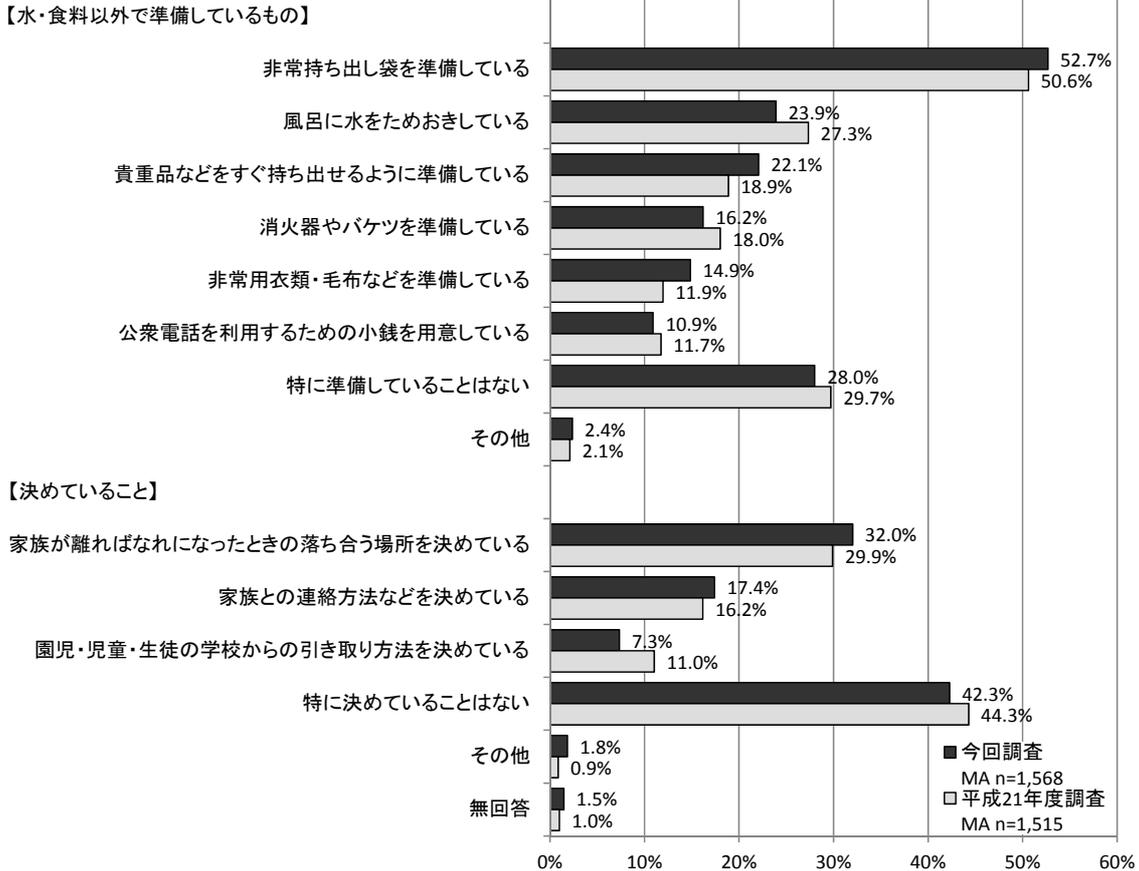
特に非常持ち出し用品、3日分以上の飲料水と食料、医薬品等は必要です。



家庭での地震対策

あなたのお宅では、東海地震、東南海地震、南海地震等が連動するような大規模地震が発生した場合に備えて、次の対策のうち日頃から行っていることはありますか？（〇はいくつでも）

水・食料以外では約5割の人が「非常持ち出し袋」を準備し、約3割の人が「家族が落ち合う場所」を決めています。



市町村で指定された避難場所

大規模地震などに備えて、市町村ではあらかじめ避難場所を指定しています。あなたは、指定された避難場所を知っていますか？

市町村で指定された避難場所を「知っている」人は8割弱です。

「知っている」人は前回より減少しています。

